

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	779-1110
平成18年度部名	環境事業部	課名	北清掃工場	課長名	中村
平成19年度部名	資源循環部	課名	北清掃工場	課長名	中村
事務事業名	粗大ごみ受入施設運営事業				
予算上の事務事業名	粗大ごみ受入施設運営事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21220		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				
施策名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律ほか				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供	▼	5 事業開始年度	平成13年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
粗大ごみ等を適正に処理するため	市民				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	市民の利便性、安全面に配慮して建設した、市民が粗大ごみを直接持ち込む施設であり、北清掃工場等へごみやリサイクル品等を搬入する量を調整するストックヤードでもある。 搬入されたごみは、プレスパッカー車を使用して北清掃工場の粗大ごみ処理施設に運搬し、家電4品目はメーカー指定の引取所に運搬している。 北部粗大ごみ受入施設 ・搬入件数 55,728件 ・搬入量 1,949,370kg ・家電4品目受取件数 1,879個				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	県内各市、全国各市				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	97,328	72,585	74,338	74,764	74,764
一般財源	72,667	46,597	48,691	46,532	46,532
受益者負担金	24,661	25,988	25,647	28,232	28,232
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	32,640	35,920	35,920	35,920	35,920
事業コスト合計	129,968	108,505	110,258	110,684	110,684
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	粗大ごみ受入施設運営事業(北部受入)			対象名称 と単位	搬入1件当たりの 事業費
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	129,968	108,505	110,258	110,684	110,684
対象数	43,912	50,112	55,728	61,969	61,969
単位あたり経費(円)	2,960	2,165	1,979	1,786	1,786
前年度比		0.73	0.91	0.90	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	受入施設直接持込粗大ごみ排出量（kg）	指標式と指標の説明	南北受入施設への直接搬入1件あたりの粗大ごみの排出量（受入施設粗大ごみ量÷搬入件数）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	40.9	37.7	34.8		
目標	48.7	49.3	50.5	50.4	50.4
目標達成度（％）	84.0	76.5	68.9		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	粗大ごみ処理量（t）	指標式と指標の説明	本年度北清掃工場で処理した粗大ごみ量（戸別収集及び直接搬入された粗大ごみ）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	6059.0	6218.0	6375.0		
目標	6684.0	7285.0	7886.0	8488.0	9089.0
目標達成度（％）	90.6	85.4	80.8		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		全量有料制併せて、市民の利便性を高め、搬入時の安全面に配慮するために建設し、北清掃工場での粗大ごみ処理量を調整するストックヤードとしての機能も果たしている。ごみの排出時期が重なり、搬入調整の機能はさらに工夫が必要だが、市民が直接持ち込み施設としての役割は十分に果たしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
市民がごみを排出する時期が重なることにより、年末やゴールデンウィークなど、短期間に集中して混雑している。これにより、1日あたりのごみの運搬や処理がコントロールできない状況がある。今後は搬入を調整するしくみの検討が必要。			・手数料の見直し。 ・予約制の導入など、市民からの排出のコントロール。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			